

都市再生整備計画 事後評価シート

牛津地域拠点地区

令和7年3月

佐賀県小城市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県	市町村名	小城市	地区名	牛津地域拠点地区			面積	54.8ha					
交付期間	平成31年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	248.1百万円	国費率	0.48							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名												
		基幹事業	市道牛津駅前支線2号線整備事業、市道牛津駅前線高質化事業											
		提案事業	まちなか再生プロジェクト、牛津駅南地区まちづくり計画策定事業、エリアマネジメント支援事業											
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業	まちなか交流広場整備事業、情報案内板整備事業			まちなか交流広場用地買収が不調になり、地域内のまちの魅力と賑わいを創出する代替え地として、交通拠点であるJR牛津駅前に事業用地を変更した。			影響なし ※下方基幹事業に変更したため					
		提案事業	牛津駅南地区優良住宅団地支援事業			令和2年度以降、計画内で策定するまちづくり計画に基づき、民間開発事業者を誘導するため、優良な住宅団地につなげる道路整備等のグレードアップの補助事業を予定していた。しかし、令和元年8月豪雨による該当地区への影響が甚大であったため、一時計画を中止するため。			指標目標値の修正					
			事業評価分析			業務委託から直営での実施へ変更。			影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	牛津駅前広場整備事業			まちなか交流広場が用地買収の不調のため、地域内のまちの魅力と賑わいを創出する代替え地として、交通拠点であるJR牛津駅前に事業用地を変更した。			影響なし					
		提案事業	なし			—			—					
	交付期間の変更	当初	なし		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
変更	—													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	定住人口	人	1,503	H29	1,511	R5	—	1,596	○	あり なし	駅前広場周辺を整備するとともにエリアマネジメント支援事業による空き店舗の活用や地域住民が参加できるイベント開催等賑わい創出するため事業実施した結果、民間事業者の宅地開発等が促進され、人口増に繋がった。	—	
	指標2	空き店舗の解消	件	0	H30	3	R5	—	2	△	あり なし	空き店舗改修事業等により、新規出店が促進され、空き店舗の減少につながった。また、左方の評価値以外にも、エリアマネジメント支援事業により空き店舗の紹介等介し、新規事業者の出店等もあり、一定の効果が得られた。	—	
	指標3	住民参加イベント	件/年	0	H30	4	R5	—	12	○	あり なし	駅前広場周辺を整備するとともにエリアマネジメント支援事業による地域住民が参加できるイベントが継続的に開催されている。	—	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	その他の数値指標1	空き店舗の解消(補助金交付対象外)	件	0	H30			—	3			指標2は空き店舗改修事業に伴う補助金交付した実績値で評価値を計上しているが、補助金を受けることなく空き店舗を活用し、開業した店舗数のため、空き店舗解消の効果があった。	—	
その他の数値指標2														
4)定性的な効果発現状況	駅前広場周辺整備やエリアマネジメント支援事業によりイベントの開催などにより賑わいが創出され、駅周辺の交流拠点としての機能が高まった。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	牛津拠点地区市街地活性化推進事業					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	今後も市民と行政協働により適正な維持管理・活用を図る。		
	持続的なまちづくり体制の構築	市民団体主体となつてのまちづくりの推進					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	市民団体主体となつてのまちづくりの推進し、市としては活用しやすいように協力していく。		

様式2-2 地区の概要

小城市牛津地域拠点地区（佐賀県小城市）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
子育て・子育て・子育てによる小城市南部の生活拠点の再生 目標1: 子育て世代を中心とした、すべての世代が住みたいと思うまちづくり 目標2: 子育て・子育てを支える交流と活動の拠点づくり 目標3: 交流と活動をまちの魅力と賑わい創出につなげるまちづくり	定住人口	単位: 人	1,503	H29	1,511	R5	1,596	R5	
	空き店舗の解消	単位: 件	0	H30	3	R5	2	R4	
	住民参加イベント	単位: 件/年	0	H30	4	R5	12	R6	

牛津駅前広場整備事業

牛津駅前広場イベント開催

市道牛津駅前線高質化事業

まちなか再生プロジェクト

牛津駅前支線2号線整備事業

牛津駅前線高質化事業

牛津駅前広場整備事業

牛津駅前地区市街地活性化推進事業

子育て支援集合住宅整備事業

子育てオフィス整備事業

牛津駅跨線橋「リアフリー」化整備事業

保育園移転

まちなか再生プロジェクト

エリアマネジメント支援事業

牛津駅南地区まちづくり計画策定事業

凡例

都市再生整備計画区域

都市機能誘導区域

居住誘導区域

基幹事業

提案事業

関連事業

まちの課題の変化

各団体の定期的なイベントの開催により賑わいが創出された。
牛津駅前広場整備したことで、駅利用者の安全性・利便性・駅の機能が向上した。一方で、賑わい創出のためイベント広場を設けたことで、駅利用者の送迎用駐車スペースが狭くなり、混雑時には駐車スペースが不足している。
牛津駅から牛津高校までの沿道の空き店舗に民間事業者の飲食店等の出店があり、新たな消費活動・交流活動の場が生まれている。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

牛津駅前広場、駐輪場等の適切な維持管理に努めるとともに、駅利用の更なる利便性・機能向上に繋がる施策について、必要性に応じ実現可能なことから取り組む。
定住人口増加に寄与する子育て支援集合住宅整備は、十分協議しながら計画を立てていく。
賑わいを創出するための牛津駅前広場イベントスペースの利活用については、広報等で周知を行うとともに、イベント開催については、今後市民団体主体となつてのまちづくりを推進し、協力していく。